

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献 中古車せりシステムのサーバ仮想化

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。富士通のパーパス「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこう」とは、SDGs達成への貢献を社内外に約束するものです。富士通は、長年にわたりテクノロジーを通じて社会に価値を提供してきたグローバル企業として、社会の変革に主体的に貢献する責任があります。世界をより持続可能にするために、社会に対して、より良い、かつスケールの大きなインパクトを与え、自社も持続的に成長していくことを目指しています。富士通は、2023年5月に発表した中期経営計画において、2030年に向けた価値創造の考え方を示しました。必要不可欠な貢献分野（マテリアリティ）の「地球環境問題の解決」「デジタル社会の発展」「人々のウェルビーイングの向上」への取り組みを通じ、SDGsへの貢献を目指します。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals : SDGs）を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030 年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



中古車せりシステムのサーバ仮想化

当社が提供する「中古車せりシステム」の制御に使用する物理サーバに仮想化基盤を実装、仮想化し、使用サーバ台数を集約するソリューションです。従来、同システムの制御に物理サーバ6台を使用していましたが、仮想化基盤（物理サーバ1台当たり複数台の仮想サーバとして分割するソフトウェア）を実装し物理サーバを2台に集約することが可能となります。これにより、サーバの消費電力によるCO₂排出量を削減するとともに、資源の節約に貢献します。

当ソリューションが貢献可能なSDGsのゴール



環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により、持続可能性を向上させる。



廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。



ICT導入による生産性向上、業務改善等によりお客様におけるCO₂排出量を削減する。

中古車せりシステムのサーバ仮想化による環境負荷の低減

システム概要

当社が提供する「中古車せりシステム」の制御に使用する物理サーバに仮想化基盤（専用ソフトウェア）を実装して仮想化し、使用するサーバ台数を集約するソリューションです。

従来、中古車せりシステムを制御するために物理サーバ6台を使用していましたが、仮想化基盤（物理サーバ1台当たり複数台の仮想サーバとして分割するソフトウェア）を実装し、使用するサーバを2台まで集約することが可能となります。

結果、使用するサーバの台数が減ることでサーバの消費電力によるCO₂排出量を削減します。加えて、サーバとして消費される資源の節約にも貢献します。

効果

・CO₂排出量の削減効果：68% ※富士通フロンテック試算

・使用サーバ台数の集約によるサーバ消費電力の削減

【導入前】 25,229kWh／年（24時間365日稼働 サーバ6台 960W／1台 で試算）

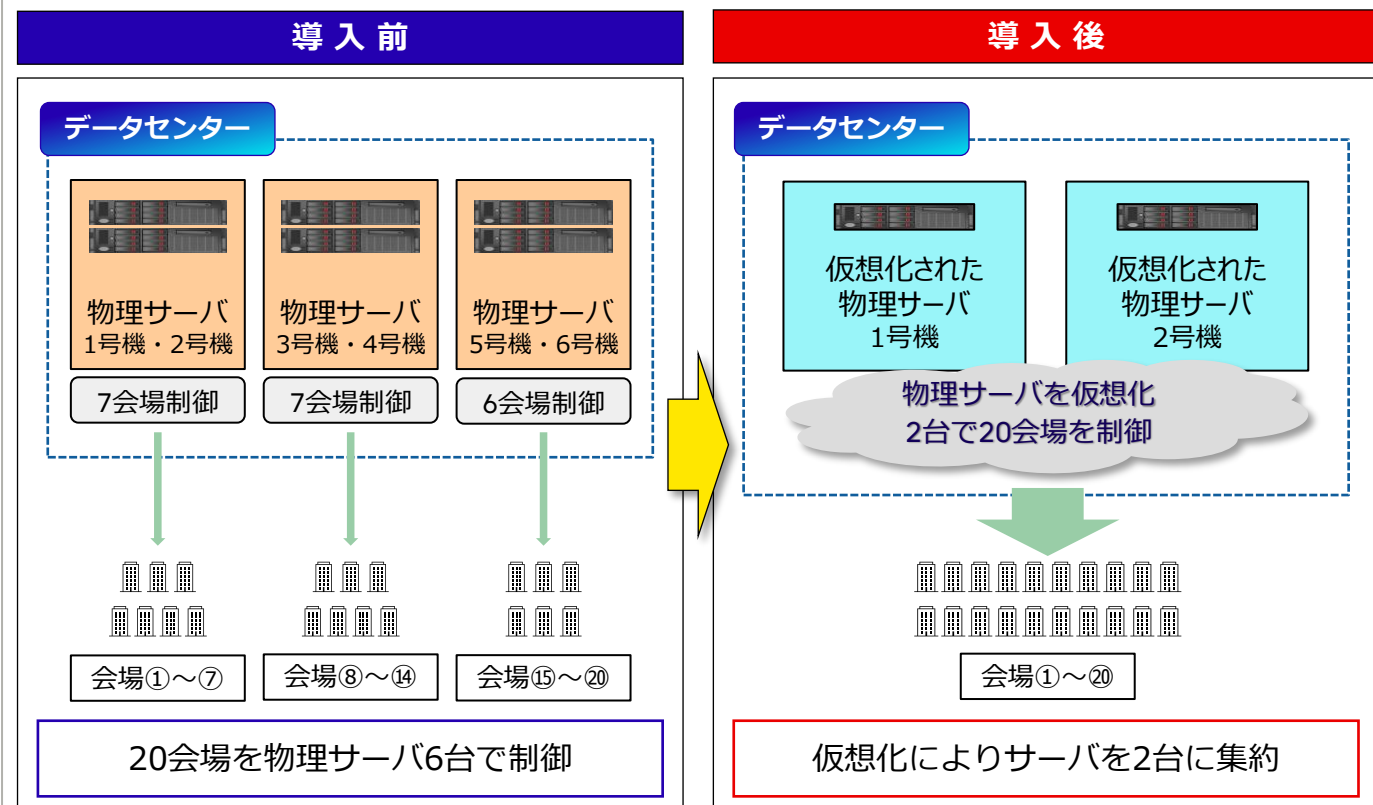
【導入後】 8,121kWh／年（24時間365日稼働 サーバ2台 927W／1台 で試算）

⇒17,108kWh／年の削減

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、システムの特性により結果が異なることを予めご承知おきください。

中古車せりシステムのサーバ仮想化によって、何故、CO₂排出量が削減されるのか？

◎ 20か所のオークション会場を制御するサーバを物理サーバ6台から仮想化によりサーバ2台に集約することで、サーバの消費電力を削減



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

フロントソリューション事業本部 CPS事業部

Webによるお問い合わせ： <https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>